子育ての知恵袋

「ことば遊び　～さかさまことば～」

今回は、さかさまことばです。聞いたことばを、さかさまに言います。例えば、「かさ」をさかさまに言うと、「さか」ですね。ことばの数（音）が多くなるほど、また聞き慣れないことばほど、難しくなります。最初は文字数の少ない、よく使うことばから始めてみましょう。

聞いた音を、さかさまに並びかえる力は、音への意識を高め、発音の発達にもつながります。





「さかさまことばをあてよう」

遊びかた①：「さかさまに言ってみよう」

さる　→　るさ、　　たいこ　→　こいた、　　ばなな　→　ななば

遊びかた②：「さかさまになったことばは、なにかな？」

るさ　→　さる、　　こいた　→　たいこ、　　ななば　→　ばなな

＊子どもが取り組みやすい遊びかたから、挑戦してみてください。

＊なす⇔すな、せみ⇔みせ、かた（肩）⇔たか（鷹）など、さかさまにすると、別のことばになるものもあります。そんな気付きも楽しいですね。



～ことのはを考える～

自己決定理論から

８月に記載した「自己決定理論」をもう少し説明したいと思います。スポーツ・経営・組織など様々な所で活用されている理論で、人のモチベーションを「どの程度自分の意思で選択しているか」という観点からとらえたものです。「自分がやりたいからやる」という感覚を伴う行動が持続的な意欲（内発的動機）につながるとお話ししました。このような「自律性」が人のやる気や幸福感（ウエルビーイング）を高めると考えられています。

人に元々備わっている好奇心や学びへの意欲、向上心などを充分に引き出す訳です。

子どもの育ちに重要な、主体性、自律性が大人になっても重要視されるのですから、人のあり方が分かりますね。

さて、『ウエルビーイング』という言葉をよく聞きませんか？
こども家庭庁の『幼児期までの子どもの育ちに係る基本的なビジョン』には、身体的・精神的・社会的に幸せな状態にあることと書かれています。生涯にわたる持続的な幸福を子ども自身が主体として実現していくというものです。
そのために大人が出来る事を考えないといけませんね。

≪自己決定理論を構成する３つの基本的心理欲求≫

① **自律性の欲求**
自分の行動は自分で選びたいという感覚を求める欲求

② **有能感の欲求**
自分には出来る、能力を発揮出来ると実感したい欲求

③ **関係性の欲求**
他者とつながりたい、大切な存在として認められたいという思いに関わる欲求

上記の３つが満たされると、物事に主体的・積極的に関わろうとする姿勢が強まり、社会的な行動も増えていきます。子どもも基本的な土台が十分満たされている事が大事ですね。

幼児教育センターは、就学前から小学校教育へつなぎます
夢と希望のもてる たからっこを
応援します！

宝塚市教育委員会　幼児教育センター
〒665-8665　宝塚市東洋町１－１
電話　0797-71-1141（市役所）
　　0797-77-2132（直通）
FAX　0797-71-1891
E-mail　m-takarazuka0289@city.takarazuka.lg.jp

★　発達、就園・就学等の相談がありましたら、上記にご連絡ください。